

児童養護施設に送迎車を寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長 平川正寿)と神奈川福祉事業協会は、社会貢献活動の一環として、(福)児童養護施設「エリザベス・サンダースホーム」(理事長 小笠原忍)に対して、2回目となる児童送迎車両一台を寄贈しました。

それ以前も、県遊協は数次にわたり計 800 万円の寄贈をしております。

これに対して、7月23日県遊協専務理事が代表して、小笠原理事長より感謝状を受賞しました。感謝状の受賞状況は以下の通りです。

1. 日 時	平成 19 年 7 月 23 日 (月) 午前 10 時 30 分
2. 場 所	神奈川県中郡大磯町「エリザベス・サンダースホーム」内
3. 寄贈内容	児童用送迎車両一台 (250 万円相当)
4. 状 況	エリザベス・サンダースホームは、昭和 23 年 6 月に、様々な事情により養護を必要とする児童たちに対して、小舎制による家族単位の日常生活活動を基本とし、義務教育の場の充実に努めている施設であり、常に定員(100名)を上回る状況であります。この車両の贈呈の基となった財源は、パチンコ・パチスロ業界の収益の一部を充てさせていただいております。



贈呈車両と小笠原理事長(中央)を囲み記念撮影
福祉事業協会高橋常務理事(左) 県遊協上原専務理事(右)



小笠原理事長(左)から感謝状をいただきました。